

睡眠疾患のために受診中あるいは受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター脳神経内科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

携帯型脳波計を用いた指標によるレム睡眠行動異常症の診断精度の検討

【研究の背景と目的】

孤発性レム睡眠行動異常症（IRBD）はパーキンソン病、レビー小体型認知症、多系統萎縮症への進展する前段階の病態です。

IRBD を確定診断するためには睡眠ポリグラフ（PSG）検査でのREM睡眠（RWA）を確認することが必要ですが、PSG検査は限られた施設でしか実施することが出来ません。

携帯型テレメトリー式脳波計は患者さん自身が手軽に電極を装着し、在宅での睡眠検査を評価する機器で、病院検査室での慣れない環境での検査と違い、普段の生活と同様に実施することができることから、当院では不眠症あるいは睡眠中の寝ぼけなど睡眠障害のある方の検査に使用しています。携帯型テレメトリー式脳波計が、PSG検査と同様にIRBDの診断に使用出来れば、より簡便な方法で多くのIRBD患者を診断することが可能となると考えています。

この研究では、PSG検査と携帯型テレメトリー式脳波計測定の両方を実施した睡眠障害の患者さんカルテから検査結果を使用して、携帯型テレメトリー式脳波計がIRBDの診断に活用できるかどうか、その精度を検証します。

【対象となる方】

2022年7月1日から2027年12月31日の間に、脳神経内科にて睡眠ポリグラフ（PSG）検査と携帯型テレメトリー式脳波計を受けた方

【使用する診療情報】

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（睡眠ポリグラフ（PSG）検査、携帯型テレメトリー式脳波計）

なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会の承認後、病院長の許可日（2024年3月4日）からから2027年12月31日まで実施された、100名の患者さんが対象となっています。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本神経生理学会および日本睡眠学会で発表し、神経学雑誌へ投稿する予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経内科 主任教授 宮本智之

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経内科 主任教授 宮本智之

住所：埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

電話番号：048-965-1249（神経内科外来直通）

受付時間（平日）9:00～16:00（土日祝日は除きます）

以上